

平成13年度 和歌山県文化奨励賞

ど い やす ひろ
土 井 康 弘 (号 汲泉)

住 所：大阪府南河内郡太子町

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：昭和22年

◎業績及び経歴

氏は、昭和22年に田辺市で生まれ、県立田辺高等学校を卒業。書の道を目指して近藤摂南氏に師事し、若くしてその才能を開花させた。

昭和46年に日本美術展覧会(日展)で初入選し、以後16回にわたる入選を果たす。

昭和47年には毎日書道展毎日賞、昭和54年には、毎日書道展準大賞を受賞し、活躍の場を全国に広げる。

氏は、弛まぬ研鑽により技法を磨き、平成6年に日本美術展覧会(日展)において漢字で特選を受賞した。氏の才能はそれだけにとどまらず、平成8年には、同展覧会において調和体(漢字かな交じりの書)で再び特選を受賞することとなる。この異なる分野で特選を受賞することは、日展史上においても大変稀なことであり、高い評価を受けている。

その後も精力的に創作活動に取り組み、個展を開催するとともに、書に関する書籍に手本、論文などを多数寄せている。また、主要書道団体の役員として後進の指導にも尽力されるなど、多大な努力を続けている。

氏は、本県のみならず我が国を代表する書家として、優れた文化の創造と普及に取り組み、本県文化の振興に対する功績は多大である。

■現在

日展委嘱
読売書法会常任理事、企画委員
全国書美術振興会評議員
新書派協会副会長
田辺市展顧問
羽衣学園短期大学教授

■主な表彰歴等

平成6年 日展 特選
平成8年 日展 特選